



プロジェクト名称

石垣島をもっと元気にするプロジェクト

プロジェクト活動概要

私達は、石垣島のサンゴ礁を保全するために活動している団体である。石垣島は日本有数のサンゴ礁地帯であるが、サンゴの大多数が白化・死滅の危機に瀕しているのが現状である。そこで、白化・死滅の原因の1つである赤土流出問題に着目し、年2回実際に石垣島を訪れ、ひまわり緑肥の実施また、島民に対しサンゴ礁保全についての意識啓発を行っている。最終的には島民による自発的なサンゴ礁保全が行われることを目指している。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 赤土流出防止対策のひまわり緑肥を普及させるために最低3件の農家と継続してひまわり緑肥を行い、ひまわりの作付面積を増加させる。
- ② サンゴ礁保全イベントの総動員数400人以上動員して多くの島民を巻き込んだ活動をする。
- ③ 宣伝活動やヒアリング、アンケート調査等でひまわり緑肥を行いやすい環境作りを目指す。具体的にはヒアリングやアンケートの集計人数500人以上を目指す。

①については、今回の新しく協力して下さった農家の畑6反分にひまわり緑肥を実施した。石垣市議会議員の東内原とも子さんと面会し、更なるひまわり緑肥の拡大について検討した。

②については、夏から計画をしていたサンゴ礁保全イベントを3月5日に市役所、石西礁湖サンゴ基金、石垣市観光交流協会青年部の方々と開催。イベントには40人が参加。新聞社やテレビ局にも取り上げられ、多くの人にサンゴ礁保全を発信することが出来た。

③については、サンゴ礁保全イベント後にイベントについてのアンケートを実施。また、島民や農家に赤土流出問題についてのアンケートを30人に実施。島民の声として、今後の活動に活かしていきたい。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017年1月1日～3月31日

1月～3月の主な活動である、石垣島での春期渡航について説明する

・お世話になっている農家の方のお手伝い

毎年、お世話になっている農家の方などのお手伝いをしている。その中で現状報告や今後の活動方針などをお話しし、関係の継続を行なっている。島民の方と深く関係を築くことが、さらに広い繋がりを作ることや活動の助けとなっている。

・農政経済課への提案

当PJが進めるひまわり緑肥の課題として上がっている、農政経済課が毎度負担する種の経費を、農政経済課へ再度循環させられるような仕組みの提案をした。具体的には、[・ひまわり畑の前にフォトスポットを作り、写真撮影と現像を有料で行う・ひまわりカードと称し、スタンプを貯めると優待が受けられるカードを有料で発行する] などがある。



提案の結果、農政経済課の枠だけでは収まらないものもあり、他の課も巻き込んで検討していればとの返答をいただいた。しかし、案としてまだ詰めの良い点もあったため、今後も深く話し合っていく。加えて農政経済課の方々の案もお聞きし、その案と当PJのものとの組み合わせ、協力して進めていくことで、より良い案が生まれていくのではと感じられた。

・種まきイベントの開催

本年度で3度目となる、ひまわりの種まきイベント「サンゴを守ろうひまわり大作戦～第3弾～」を、サンゴのまつりの中で開催した。イベントの中では緑肥に関する紙芝居、サンゴにまつわるクイズ、そして実際に緑肥を体験する種まきを行なった。今回は、参加者が楽しめる要素として、種まきを運動会のように競技化させ実施した。その結果、参加者に種まきの大切さを感じながらも、生き生きと行なっていたと思う。イベントを行うことが、緑肥やサンゴの重要性を伝え広めるための大きく、良い手段であることを再認識できた。石垣島サンゴ礁基金と共催という形で、これまでよりも深くイベントに携わらせていただき、PJ全体としても成長できた。

・島民アンケートの実施

当PJの認知度と共に、島民の方が本当に望んでいる活動や島についての認識についてアンケートを実施した。

アンケートを行なった結果、ひまわり緑肥の知名度はまだ低いということがわかった。さらに緑肥を行うメリットが農家にとって金銭的な利益に繋がらないため実施していないということも今回のアンケートからわかった。緑肥を行なってもらうためのさらなる工夫が今後の課題である。





今後の活動計画、目標、意気込み

当プロジェクトが今後行う活動のひとつとして従来の活動の継続があげられる。今までは赤土流出防止のためのひまわり緑肥を普及させるため、小学校環境教育や種をまくイベントで意識を啓発してきた。そこで今後の目標は年に2校を目標とし、ゆくゆくは石垣島のすべての小学校で環境教育を行い、イベントに関しては他大学の団体も巻き込みより大きいものにする事である。

また、今まで得た繋がりを活かし更なる島民との繋がりの増加、サンゴや赤土・ひまわりについての知識を得るための勉強、先日の渡航でのアンケートをもとにした新たな活動の企画、提案、実行をする予定である。

具体的な予定

3月	渡航振り返り	
4月 ~8月	アンケートをもとに新たな活動の始動 小学校環境教育の企画書作成・各小学校に連絡	サンゴ・ひまわり・土壌などに関する勉強会を定期開催 より良い普及方法・問題点解決の思案
9月	渡航 お世話になっている島民との交流 小学校環境教育の企画書提出	新たな活動の実施

我々が直面している一番大きな問題はひまわり緑肥を行う上で農家の利点が少ないことである。燃料費や人件費の問題から農家はひまわり緑肥を行うことを渋っている。また農業者、漁業者、観光業者はうまくお互いの問題点をカバーできていない状態である。そこで我々と3者が協力して、石垣島をもっと元気にすることが出来るような活動を行っていこうと思う。